

かえで自治会

かえで地区は最初に開発業者が力を入れて「まちづくり」を行った地域だけに、美しい遊歩道に川が流れ、「春のプラザ」「秋のプラザ」と桜やもみじの木々が年数を重ね、紅葉の頃には特に趣があります。30年を経て、新しく公園や歩道に手すりが設置され、電燈もLEDに付け替えられ、照らし出された夜の紅葉も素晴らしい景観です。



このような美しい自然や街並みを後世に残していくためにも、クリーンデーの定着と多くの参加者の協力が不可欠です。美化意識の向上は勿論のこと、知り合いが増えたなど住民間の親睦や連帯感を生む貴重な機会ともいえます。問題は参加者が特定の人に限っている事です。



これからは今にも増して高齢化社会になっていきます。自治会活動のあり方について考え具体化していくことが急がれます。



この10年の間にかえで自治会では、長年の住民の願いであった「6丁目にバス停を新設」する事ができました。

また、かえでのサポーター達により、西京区地域力サポート事業の補助金を受け、介護予防推進センターより派遣された指導員をもとに「のんびり運動教室」、また地域の子ども達が本を通して健やかに豊かに育つことを願って「かえで子ども文庫」をかえで会館で月2回開催しています。



一大イベントの夏祭りや運動会は、大人から子どもまで楽しめる行事として定着しています。子ども達の思い出になればと思います。

これらは、地域のつながりの希薄化の中で、コミュニティの活性化、共に支え合う福祉と健康のまちづくりにつながる大きな取り組みです。



さつき自治会

さつき自治会は2018年度統一夏祭りを新たな試みとして「コンパクト」な物にしようと取り組みました。役員や班長の中には幼児、児童のいる家庭や有職の主婦も多く、準備・本番・後片付けに連日時間を取ることが難しい現状がありました。そこで、準備も後片付けも祭り当日に設定しました。そのため、祭り自体は夕方には終了としました。外部からのゲストもありませんでしたが、子ども達対象のゲームを天蓋公園と自治会館の2箇所で開催して充実させ、「野菜の詰め放題」など大人対象のプログラムも新しく入れました。

気に入ったゲームに何回もチャレンジする子ども達もいて、働き手のこちらも楽しませてもらいました。

忙しくも中身の濃い充実した1日になりました。

防災訓練についても、訓練前の班長会では様々な意見が出ましたが、参加してみて、新しい知識を得ることが出来、数年に一度廻ってくる班長の任期の時だけでも参加して、経験を積み、非常時に備えようと意見がまとまりました。



しらかば自治会

私たちが住む桂坂は、鳥の姿やさえずり、たくさんのみどりや澄んだ空気、人と人とのふれあいを感じられるのも「人と自然との共生」を基本テーマにした“まちづくり”を私たちみんなが創り出してきた成果と言えます。

しらかば自治会は1998年（昭和63年）5月に桂坂学区2番目の自治会として誕生し30周年となります。これからの“まちづくり”のためにはそこに住むすべての「人」が健康で、美しく、元気でなければならないと思います。

第一部では、アクティブシニアを対象に「昭和を語ろう！」と題して、昭和を映像とパネルを使ってあの頃を皆さんと語り盛り上がりました。



第二部では、「人の健康と美のために！」人の健康と美に効果のあるスーパーフードで軽いランチを楽しみながら、そのレシピや効果のワークショップを行いました。

第三部では、まちをより美しく元気にして行くために環境にやさしい緑の育て方などのワークショップと30周年のシンボルとして「しらかばの木」の植樹を行いました。



はなみずき自治会

この1年のはなみずき自治会の活動を桂坂の皆様にご紹介したいと思います。

夏祭りでは、住民の方手造りの立派なお神輿を担ぎ、子どもたちの元気な掛け声とともにマンション周辺を練り歩き、マンション前の沓掛寮へ訪問します。その際、入居者の方にお手紙のプレゼントなどをお渡しすることが毎年の恒例となっています。沓掛寮の方々にもご好評をいただき、小さい子どもからお年寄りまで笑顔があふれる素敵な時間となっています。また、模擬店では「歴代会長が作る焼きそば」も大好評。前売りのみの販売ですが、当日は美味しい匂いに購入希望者が後を絶たず、毎年、即完売となっています。

敬老の日には、70歳以上の方を対象にした敬老会でイベント・ゲームなどを企画し開催。今年度のじゃんけんゲームでは最高齢の参加者が見事優勝！とても盛り上がりました。

体育祭では、桂坂創立30周年の記念すべき年に光栄にも、はなみずき自治会の小学生2名が選手宣誓をさせていただき、自治会員全員一致団結して取り組むことができました。順位も昨年よりぐんとアップしました！

また昨年とはとても災害の多い1年でしたのでぜひ多くの住民の方にご参加いただけるよう「はなみずき防災訓練」と併せて訓練参加者対象の抽選会も行いました。70名を超えるたくさんの参加があり、為になるだけでなく、とても楽しいイベントとなりました。

これからも住民同士の「思いやり」を大切に、様々な地域活動を通して親睦を深め、はなみずき自治会員の連携を深めていきたいと思っています。



夏祭り全景
マンション中央にあるプレイロットにたくさんの人が集まります。



夏祭りお神輿
マンション周辺を子どもたちがワッショイの掛け声とともに一生懸命運びます。



敬老会
おいしいお食事とお酒、ギター、ピアノ演奏による歌唱もありみなさんの笑顔が素敵です。



運動会
練習も一生懸命しました。一番上手に本番をやってくれた2人に感動しました。



防災訓練
とにかくたくさんの人が集まってくれました。大人は講義と段ボールトイレの作成、子どもは新聞紙スリッパの作成を行いました。

あかしあ自治会

桂坂の創立30周年と同じく、あかしあ自治会も誕生から丸30年の節目を迎えました。当自治会では、毎年恒例となっている夏祭りの開催と桂坂学区民体育祭への参加を活動の軸に、70歳以上の会員を対象とした「敬老の集い」の開催、会報『やまびこ』の発行、ふれあいクリーンデー（北沓掛第四児童公園とその周辺の清掃活動）の実施、各種体育行事への参加、使用済みてんぷら油の回収、夏休みのラジオ体操、自治連合会はじめ各種団体との連携など、会員相互の親睦を図る行事を中心に様々な活動を行っています。

夏祭りは、恒例の子どもみこし、名物の焼きそばの模擬店、立派な櫓を囲んでの盆踊りなど、単なる会員相互の親睦を目的とするだけでなく、近隣の施設や住民の皆様にも喜んでいただける行事として、毎年盛大に行っています。

桂坂学区民体育祭では、桂坂の他の自治会と比較して少ない世帯数であるにもかかわらず、強固なチームワークを武器に毎年好成績を残しています。

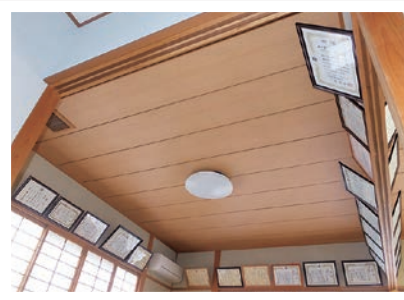
あかしあ自治会はこの30年、会員の努力によりゼロからの発展を遂げてまいりました。現在の自治会は、自治会を創生期から育ててこられた方から最近引っ越してこられた方まで、多様な世代により構成されていますが、その持ち味である心温まる会員同士のつながりは誕生から30年経った今も変わりません。この良き伝統を今後も大切に、40年、50年経っても変わらない、そんな自治会活動を今後も進めてまいります。



自治会館外観
各種活動の拠点です。



自治会館内
多くの賞状が所狭しと飾られています。



歴史を物語る賞状の数々
自治会30年の歩みと歴史が、見る人を圧倒します。



北沓掛第四児童公園
住民憩いの公園です。
平日早朝にはラジオ体操が行われています。



夏祭り会場の公園グランド
桂坂一の広さを誇るグランドです。
盛大な夏祭りの舞台となっています。

ぽぷら自治会

ぽぷら自治会は、サンシティ桂坂の3つのマンションで構成された自治会です。

子どもたちから年配の方に至るまで、幅広い世代で構成された自治会です。

毎年の夏祭りや年2回のクリーンデーが、皆の交流の場となっています。

自治会とマンション管理組合の理事会で、人々のつながりと建物の管理の両面が支えられています。

マンションの各棟には、AEDが設置されています。

夏祭りで子どもたちを含めた住民の皆さんに新たな経験をと、これまでにバンドを呼んだり、今年は飛び入り余興としてヴァイオリン演奏を楽しむこともできました。

皆が助け合い、温かい気持ちで暮らしていける場所を目指していければと願っています。



けやき自治会

「けやき自治会」は、明智光秀が進軍したともいわれる唐櫃越の古道が走る西山丘陵地の麓に抱かれた桂坂地域の中でも歴史ある自治会です。

山際の立地は、四季折々の空気をダイナミックに感じられる彩り豊かな地域として、近年は紅葉の名所として人気スポットになっています。

特に、自治会館に隣接する「大枝山第二児童公園（山の辺公園）」では、紅葉の時期を迎えると赤や黄色に姿を変えた葉が公園全体を包み込み、桂坂30周年を迎えた今年は、80名近くの方々が紅葉を愛でる野点の席を存分に愉しんでいただきました。

けやき自治会では、そんな情緒あふれる景観をできるだけ住民自らの手で整備したいとの思いで、役員が中心となり、毎月一度の地域清掃を進めてきました。有難いことに、役員以外の方々の参加も多く、長年の住民自身の主体的な参加があって今の美しいけやき地域があることを嬉しく思います。

一方、どの自治会も抱えている住民の高齢化は、喫緊の課題として度々取り上げられています。世代継承が可能な世帯では、地域活動においてもバトンを繋ぐことができますが、高齢や単身などで地域活動に参加しづらい方も多く、自治会の在り方が問われる時期にさしかかっているといえます。

美しい桂坂、そして美しいけやき地域をこの先10年、20年と引き継ぐ為に出ることを地域全体で横断的かつ建設的に議論し、次の40周年に繋ぐことが出来ればと切に願っています。



夏まつり



けやき自治会館



インスタ映え山の辺の公園



紅葉の街路樹



紅葉の名所山の辺の公園

ひいらぎ自治会

ひいらぎ自治会は御陵大枝山町六丁目を区域としています。自治会員数は現状220世帯です。

南西北をバス通りに面し東はつばき自治会に接しています。中央を石畳通りが東西に通り、山の辺の公園から天蓋の花公園まで続く緑道が南北に走っています。石畳通りに面して香りの花公園があります。

古代の劇場を彷彿させるような階段状の円形観覧席があり、夏祭り等の催しを行っています。

また公園に隣接して自治会館があります。29年度に屋根の大改装を行いました。自治会の会議、講演会、子ども会に利用されるとともに、山の手クラブの囲碁クラブ、麻雀クラブにも会場として使われています。また桂坂の唯一の寺院である西念寺さんも会員です。ひいらぎ自治会は毎年盆踊りも含めた子ども中心の夏祭りを開催しています。また桂坂学区民体育祭にも積極的に参加し、常に優秀な成績を残しています。特に綱引きでは7連覇中です。ひいらぎ自治会地区は昭和の最終年に入居が始まった桂坂でも比較的早い段階に開発された地域です。自治会は今年で30回目の総会を開きました。新しい住民の方も徐々に増えていますが、やはり高齢化は進行しています。自治会では運営の仕組みや役員選出地区の編成見直し等対応に動いてはいますが、なかなか対処しきれていないのが現状です。今後は自治会をより効率的に運営し、かつ自治会の魅力をいかに発信していくかが課題になります。



つばき自治会

つばき自治会では、役員班長職の負担軽減のため、仕事の分担、活動内容の軽減に取り組み、皆が負担なく楽しく参加できる自治会を目指しています。

2018年度夏祭りでは、輪投げやビンゴ大会など、子どもたちの楽しめるゲームから始まり、食べ物飲み物の模擬店に加え、毎年好評のボディペイントも行いました。また大人も子どもも楽しめるイベント企画として、今年は京都大学ロープスキッピングサークルMTTRの学生さんにダブルダッチや縄跳びのパフォーマンス、京都明徳高等学校吹奏楽部にマーチングバンド演奏を披露して頂きました。猛暑の中でしたが大勢の参加者で盛り上がりました。

2018年度体育委員活動では、6月のグラウンドゴルフで準優勝、体育祭では玉入れで2位、リレーでは小学生、大人の部ともに決勝進出という結果を残すことができました。参加された方々だけでなく、見ている方々も熱のこもった声援を送り、つばきの一体感を随所に感ずることができました。大きな怪我もなく無事に終わることができ、ほっとしています。

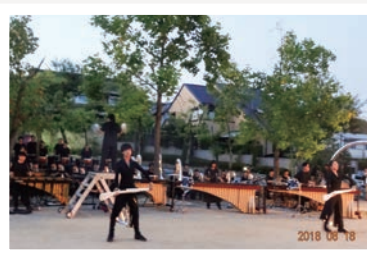
防災委員会では、消防署の方に来て頂いてAED講習を行いました。各々が人工呼吸やAEDの使用法を白熱した様子で実演されていました。皆さん和気あいあいと楽しく勉強する事が出来て良かったです。また、消防署に確認、アドバイスを頂いて、つばき防災行動マニュアルを作成しました。これを基に災害時に行動して頂きたいと思えます。

桂坂つばき地区建築協定委員会では、桂坂つばき東第2地区の表示看板が長年の風雨により看板が剥がれ、錆びついていた為、この度リニューアル工事を行いました。これにより景観の保全、向上に繋がることを期待します。看板の設置場所は、バス停「桂坂センター前」の近くです。

今後、楽しい企画で住民の交流を図り、仲良く助け合えるつばき自治会になることを期待します。



子どもたちのゲームを見ながら
楽しい食事



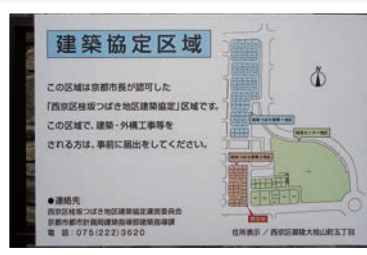
京都明徳高等学校吹奏楽部
マーチングバンド演奏



体育委員のメンバー



真剣なまなざしで人工呼吸



新設された看板

くすのき自治会

【自治会活動運営】 毎月1回の区班長会議を実施、話し合いをして日々活動をしています。

活動自体は意義があるものとの認識は多くの方が持っておりますが、少子高齢化や核家族化の波は桂坂も例に漏れず、それらの背景もあり会員数の減少が大きな課題となっています。そのため役員では出来るところから、業務の簡素化、削減などを行っており、無理なく運営していけるように様々な見直しをおこなってきました。会員数の減少に伴い運営費としての予算も縮小見直し、経費削減もしています。また、桂坂小学校に通う児童の数も減少し現在では16名となっており、夏祭りも自治会館を利用したやり方などに変えています。自治会は必要なものではありませんが、桂坂も30周年を迎え、時代に合わせた自治会活動に変えるべき時だと感じています。



会議風景

【くすのき自治活動を考える会】 くすのき自治会は平成11年に発足され、はや20年が経過しています。平成15年度では、全世帯数218世帯に対し、自治会員の加入率が99.5%であったところが、平成30年度では会員世帯数140世帯、加入率約60%と著しく減少しており、このままであるとくすのき自治会の存続そのものが危ぶまれています。この状況を危惧して、くすのき自治会の了承の下、有志を募り「くすのき自治活動を考える会」が平成28年4月に結成されました。その後活動を続け、改めて自治会の重要性の再認識、会員数減少の原因、問題点の追及、住民へのアンケートの実施、打開策の検討を熱心にされてきました。平成31年度では考える会の有志自身が自治会役員にも立候補、今後推進し、何とかしたいとの想いで取り組んでいく予定です。



くすのき自治活動を考える会

【夏祭り】 自治会館を利用した夏祭りを実施。初めての試みとして巷でも話題が多い、将棋教室の開催し大変好評でありました。



夏祭り

【健康増進活動】 健康体操inくすのき自治会を開催、年齢を問わず広く呼びかけ気軽に体操できる機会を設けました。

【くすのき地区建築協定運営】 役員が運営委員会を担当、建築協定の更新を実施。京都市自治120周年記念式典に於いては、くすのき地区建築協定運営委員会が表彰されることになり、長年に亘り、建築協定改正などに尽力いただいた河合氏が代表で出席、表彰を受けました。



健康体操



もくれん自治会

桂坂30周年を迎えた、もくれん自治会の1年間の活動を振り返ってみました。

今年11周年の若い自治会は、広々とした花の舞公園を中心に東西に約200世帯が暮らしています。杳掛山や野鳥遊園に近く、家の周りではきれいな鳥のさえずり声を耳にします。

小学生の人数は学区内でも有数で、公園では多くの子供達の姿を目にします。

自治会活動で最初の大きな行事は夏祭りで、今年は初めて盆踊りを行いました。最初は戸惑いながら見ていた自治会員の方々も、徐々に参加し、人の輪となり一緒に踊れたことは貴重な体験でした。天候にも恵まれ、もくれん10周年記念の時計台に見守られながら無事に開催出来ました。

区民体育祭では子ども達を中心にパワー全開でリレーや玉入れで奮闘、他の種目でも地道に点数を重ね、見事に総合優勝の栄冠を勝ち取ることが出来ました。

一方、近年大きな被害を各地にもたらしている自然災害とも無縁ではなく、9月には西京区のご協力で地域防災に関する貴重なお話を伺い、土砂災害ハザードマップや避難ルートの確認も行いました。

これら1年間の活動が無事進められたのは、自治会員や役員OB、また自治連合会等多くの皆様のご協力によるものと感謝の念に堪えません。



もくれん自治会の中心に位置する花の舞公園



花の舞公園の藤棚



夏祭り、人気の抽選会



夏祭り、初めての盆踊り



地域防災講習会（もくれん自治会館）



区民体育祭の優勝トロフィーと賞状

あすなろ自治会

春・秋のクリーンデーには、150名を超えるたくさんの方々に参加頂き、好天のもと公園や緑道、側溝など掃除できました。

皆さん、桂坂の良好な環境を守るという高い意識をお持ちで熱心に掃除して頂き、300枚用意したゴミ袋全部使い切るほど熱心に清掃して頂きました。次年度にはもう少し多めに準備する必要があるかなと思います。

またお子さんにもたくさん参加頂き、ご家族で環境意識を共有できるいい機会になったなあと感じます。

夏祭りでは、例年のように、ゲームやイベント、飲食物の販売、福引など行い、心配していましたが、ゲリラ豪雨などに見舞われることなく大変盛況でした。

特に以下のイベントは、皆さんにご好評でした。

- ・ダブルダッチの立命館大学生の方々によるデモとお子さんへのインタラクショ

- ・マジックバーのパフォーマーをお招きしてのマジックショー

今年度は、地震や台風、夏場の災害級の猛暑などいろんな災害が発生したのは記憶に新しいところですが、区役所や消防の方々から役に立つ情報や、ご指導を頂き、「防災時の避難行動勉強会」や「総合防災訓練」を実施しました。避難行動勉強会では自治会館に入り切れないのではないかとと思うくらいたくさんの方々にご参加頂きました。

今後益々、荒っぽい自然災害が発生する可能性が高まるなか、自身の身を守るヒントがいろいろ紹介されました。昨夏にはあすなろ自治会地区に、なんと熊が出没しました。桂坂に暮らしていると鹿や猿はよく見かけますが、熊対策も必要か。。。(閑話休題 m() m)

【その他】

- ・20年毎の建築協定の見直しも皆さまの同意が得られ、無事に更新できました。
- ・毎月の天ぷら油回収サイクル
- ・70歳以上の方には敬老の日に掛けて、細やかな記念品を贈呈しました。



夏祭り、スーパーボールすくい



夏祭り、ダブルダッチ体験



災害時、避難行動勉強会



熊出没注意



桂坂学区総合防災訓練



天ぷら油回収サイクル

にれのき自治会

「にれのき」の北地区と南地区を分けるバス通りは、美しい並木が連なり桂坂を代表する撮影スポットとなっています。また南北に通る桜緑道は桜をはじめとした木々で彩られ、季節の移ろいを身近で感じられる環境にあります。このような環境を何よりも大切に、自治会活動を行っています。

【夏祭り】

班長さん、ボランティアの皆さん、一致協力して取り組みました。準備から当日の運営まで、皆さんのすぐれたアイデアとマネジメントは目を見張るものがありました。普段のお付き合いではわからない思いがけない能力が発揮されるのもこのような機会です。

【公園清掃活動】

「にれのき」には峰ヶ堂第一公園（きさらぎ公園）があります。毎月各班の輪番制で公園の清掃活動を行っています。統一クリーンデーのほかボランティアのグリーン・クラブの方々の活動も含めて、平成30年4月から12月までの9か月で延べ500人近くが参加しており、おかげで公園はいつもクリーンな状態に保たれています。

【防災・防犯活動】

平成30年も自然災害の多い年でした。特に9月には警報や避難勧告などが相次いだことから、京都市の「防災の出前」の講義を受けました。注意報・警報、避難勧告などのアナウンスの内容やハザードマップの見方など、ボンヤリとしか把握していない事項について再確認できました。

また、空き巣被害発生のニュースを受けて、地域の防犯体制強化の一環として、防犯ポスターを各戸に配布し、門扉など通りから見えるところに掲示していただいています。



バス通りの並木



夏祭りの準備作業



きさらぎ公園 クリーンデー



防災会の防災訓練



空き巣対策の防犯ポスター

もみのき自治会

もみのき自治会は、330世帯余りの会員が所属しています。自治会発足から約20年が経過し、世代の入れ替わりが見られるようになってきました。忙しい日常の中、現役世代を含む役員・委員はボランティア精神を発揮して自治会活動に時間を取り分けています。

自治会館の手入れが必要な時期になり、2018年から2019年にかけて改装工事を行いました。自治会員がより使いやすい規約にも改定されました。会員等の親睦などに自治会館がますます活用されることでしょう。

これからの10年、20年。高齢化、少子化、情報化などの社会の変化に対応した自治会のあり方が問われることでしょう。社会の動きに合わせて、自治会でも共生や助け合いが大切になってくるのは間違いありません。また、災害に対してこれまで以上に備える必要があります。まず、身近な人に関心をもち、助けるボランティアのところが大切になることでしょう。

少しの危機感と大きな希望をもちながら、もみのき自治会の平安と発展を願っています。

【中学生の声】

桂坂で生まれて13歳になりました。桂坂の保育園、小学校、中学校で成長し、公園や緑がたくさんある桂坂で楽しく過ごしてきました。まだまだ知らない桂坂があるのではないかもっともっと桂坂を探訪できればと思っています。私の一押しは、雪景色の桂坂公園です。 宅間 野々花

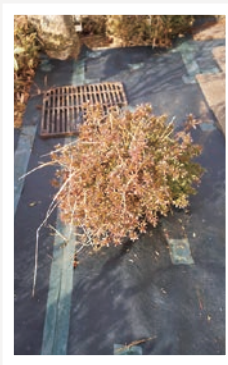
【高校生の声】

僕はこの桂坂で生まれ育ちました。小さい頃は近所に子どもが多く、年齢、男女問わずみんなで仲良く公園や家の周りでよく遊びました。この桂坂は名の通り坂がとても多いですが、その坂が野球をしていた自分を鍛えてくれました。今年、大学進学を機に桂坂を離れますが、桂坂で初のプロ野球選手になれるよう頑張ってきます。

小寺 智也（龍谷大学付属平安高等学校 第100回全国高校野球選手権大会出場 投手）



改装された自治会館



防草ネット



夏祭り



災害に備えて



防災体験学習

さくら自治会

さくら自治会は桂坂西山丘陵の南東向き斜面に面し、東は京大桂キャンパスに隣接した京都市内を一望できる素晴らしいロケーションにあります。平成7年頃より御陵峰ヶ堂地区の分譲が始まり、平成8年にさくら自治会が設立されて今年で23年目を迎えました。現在では1区、2区合わせて141所帯が加入する自治会です。

私達は春と秋の細谷公園や地域周辺の清掃活動、夏のさくら夏祭りの開催、秋の区民体育祭や防災訓練への参加を通して会員同士の絆を強めています。例年さくら夏祭りは、京大生協のテラスを借りて実施していますが昔のような手作り感のある夏祭りを求めて、さくら会員によるミニ・コンサートを開催しました。バイオリン、フルート、ピアノによる手作りコンサートは大人も子ども達も大いに盛り上がった夏祭りとなりました。秋は日頃の運動不足解消に区民体育祭に参加しました。その夜は子どもも大人も参加して大反省会です。大人はお酒も入りまた来年のリベンジを誓い合いました。

今年は自然災害の多い年でした。台風により家屋に被害を遭った会員さんも多くあります。

「私達の街は私達で守りたい」の思いを抱いて桂坂防災訓練にも参加しました。そして災害時には隣近所の声掛けと素早い連携が最も重要であることを学びました。自治会は、「地域の要」だと考えます。住民の方々が気兼ねなく助け合える、そんな「さくら自治会」になりたいと思います。



さくら自治会館全景



細谷公園から2区を望む



夏祭り：ミニコンサート



夏祭り：こども工作



区民体育祭



桂坂防災訓練

くるみ自治会

くるみ自治会は、2014年に発足した桂坂学区内で最も新しい自治会で、桂坂口からロータリーにかけて南北に細長く位置しています。自治会館と隣接するうららの丘公園は非常に見晴らしがよく、ここからの美しい眺めに大変癒されます。会員数は自治会内の宅地開発とともに増えたものの自治連合会内最小の約100世帯の構成で、小さいながらもアットホームで明るい雰囲気の特徴です。

くるみ自治会では、年中開催されるイベントを通して住民間コミュニケーションの構築を図っています。昨年の区民体育祭の綱引きでは3年連続準優勝で悔し涙をのんだものの、ソフトボール大会では念願の初優勝を飾り大いに盛り上がりました。また、自治会オリジナルTシャツ・ポロシャツも完成し、より一層自治会内の一体感が増しました。統一夏祭りでは毎年たくさんの住民が参加し、趣向を凝らした模擬店やビンゴ大会を満喫しています。その中でも「世界のビール」は他の自治体からも注目される名物店となりました。ドイツやタイなど世界のビールを片手に、住民同士大いに語り合いながら親交を深め合っています。

発足後、まだまだ歴史が浅いくるみ自治会ですが、安心して暮らしていけるより良い自治会作りに向けて、これからも住民同士一致団結して「楽しく」活動して参ります。引き続きご支援の程、よろしく願いします。



うららの丘公園からの眺め



街並み



区民体育祭綱引き



夏祭りの風景



オリジナルTシャツ完成

桂坂学区自主防災会

活動方針として『地域の防災力・減災力の向上を目指し、災害に対応し得る自主防災部（自治会の防災組織）の確立を図る』を掲げています。

近年あらゆる自然災害が頻繁に発生しています。地震・豪雨・土砂災害・台風そして災害級の酷暑等々からの被害を最小限に食い止めるには、どのような備えがいるのかを一人ひとりがしっかり考え判断し、その対策をとることです。つまり、発災後、一番大切なことは自分や家族の命や身の安全を確保する（自助）ことです。

次にすることは、地域に被害が発生した際には隣近所の助け合い活動（共助）です。この活動の決め手は、日頃の地域住民のつながり、つまり地域コミュニティの確立の有無に係ってきます。大きな災害になればなるほど行政からの救済支援（公助）は遅れるものです。従って自助・共助の活動が自らの命や地域を守る重要な活動となるのです。その点を考えた活動方針や事業計画を立て、実践することなくして自分たちの生活・地域は守れないのです。

自助の備え…防災センターでの研修、“防災出前講座”の活用、各家庭に住警器の設置等々
共助の備え…総合防災訓練・避難所開設運営訓練の実施、自治会館防災設備の点検と防災機器の充実等々

が挙げられる。



災害用マンホールトイレの設置



炊き出し訓練



地図を広げて安否確認中



防災器材使用中



防災訓練全体会の様子



避難所開設受付



避難所運営訓練

桂坂社会福祉協議会

社会福祉協議会は、高齢になっても、障害があっても、子育てをしても、社会の中で一人一人が大切にされ、誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりを進める民間の団体です。

西京区社会福祉協議会の下にある桂坂学区社会福祉協議会は1991（平成3）年に発足以来、29年目を迎えようとしていますが、人と人とのふれあいを通じ、みんなで支えあい、協力しながらやさしさを感じるまちづくりを目指しています。

「学区社協」として、ボランティア活動を積極的に行い、住民主体の地域福祉活動を進め、高齢者福祉、障がい者福祉、児童福祉を行っておりますが、急速にすすむ少子高齢化の状況の中でますます高齢者福祉事業の充実が求められています。

高齢者福祉事業としては、介護予防事業の一環として、また健康づくりとして、「すこやかサロン」、「いきいき筋トレ教室」、「スカイクロス教室」を毎月開催しています。また、70歳以上のどなたでも参加が出来る「桂坂茶話会」を毎年1回、11月に開催し多くの方に参加いただいています。高齢者世帯の方や地域の行事に身体的理由で参加困難な方を対象にして開催の「すこやかサロン」は、いつまでも元気にいきいきとした生活が営めるようにと願ってのふれあい事業であり、「頭を使う」「手を使う」「体を使う」そして何よりも「楽しんでもらう」をテーマに楽しいひと時を過ごしてもらえるように工夫をしています。また、「いきいき筋トレ教室」では、健康寿命延伸に向けた、日ごろの運動不足を解消し、転倒予防、生活習慣病予防、ボケ防止のための体操など親しみやすい音楽に合わせて楽しく行っています。スカイクロスは京都で生まれたニュースポーツで年齢に関係なく、高齢者も児童も一緒になってプレーできる安全性とゲーム感覚での面白さが特徴です。毎年9月には、寝たきりの方や、高齢者で一人暮らし、高齢者世帯の方々の毎日使っているふとん類を丸洗いして乾燥し、その日のうちにお届けする「ふとんクリーニングサービス」を費用は無料で行っています。

「地域の絆づくり事業」としては、社会的孤立を防ぐ「居場所づくり」を進めており、地域での楽しい交流と世代を超えたふれあいの輪を広げる喫茶型サロン、いこいの広場「ひだまり」を毎月1回開催しており、気軽に会話を楽しめ、おしゃべりしたい人、通りすがりの人どなたでも参加できます。

いろいろと社協の事業を進めていくうえで、ボランティアの高齢化、担い手の減少と課題もありますが、今後とも自治連合会と連携を密にし、民生児童委員協議会、老人福祉員、各種団体と協力し、住みよいまちづくりを進めてまいります。



すこやかサロン
(新聞紙・広告紙を使ってファッションショー)



いきいき筋トレ教室
(指導員を招いて)



スカイクロス



いこいの広場「ひだまり」
ミニコンサート(アンサンブル・リラ)



クリーニングサービス

桂坂体育振興会

桂坂体育振興会は、各自治会の体育委員さんのご協力のもと、年に8種目の競技大会と学区民体育祭を開催しています。

競技大会の中でも、男子ソフトボール、女子ソフトボール、卓球、ボウリング、バレーボール、ソフトバレーボールは西京大会から京都市大会へとつながっている競技です。幅広い年齢層の方々にご参加頂けるようにニュースポーツ（グラウンドゴルフ、ペタンク、ソフトバレーボール）も取り入れ、地域の皆様の心身の活性化に役立てばと願っています。種目によっては、高齢化が進み参加者集めに苦労される自治会や、一方で若い方が多くて選手選びに苦労されることなど、自治会によって様々です。年1回、得意とされる競技だけ参加して下さる方もおられます。

また、学区民体育祭では競技には参加できないけれど、「あの自治会のテントに行けば、あの方にお会いでき、一緒に応援し、お弁当を広げ、お喋りすることができるので、楽しみにしています！」というお声も耳にします。体育委員さんからは、「選手集めが大変だったけれど、楽しかったし、自治会の皆様と知り合いになり、コミュニケーションが図れて良かった。」という感想をいただきます。そのような声を糧に役員は頑張っています。



京都マラソン沿道整理ボランティア



準備体操



徒競走



綱引き



男子ソフトボール

今後もスポーツを通じて地域の皆様のきずなが深まり、いざという時の助け合いにつながり、「元気な桂坂」を次の世代へと継承出来ますように、体育委員、自治連合会、各種団体の皆さまからのご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

日本赤十字社桂坂奉仕分団

日頃から、赤十字活動につきまして、皆様方には、深いご理解と温かいご支援を賜り心からお礼申し上げます。

日本赤十字社は、世界189の国と地域の「赤十字」の一員として、昭和27年スタートから60年が経過し、世界の平和と人類の福祉向上、災害医療活動や、復興支援、保健医療活動や、緊急の資金援助などを行っています。



東日本大震災

国内における赤十字活動は、阪神淡路大震災、東日本大震災、京都府南部豪雨災害、熊本地震大災害、九州北部・秋田県、三重県・和歌山県などの台風災害などに対して、義援金を提供し、被災地に医師団を派遣するとともに、毛布などの救援物資を被災者に配布などの支援活動を行って来ました。



平成28年熊本地震災害

皆様方のお寄せ下さる寄付金等が国内はもとより全世界の平和と福祉増進、災害救助活動をはじめ血液事業・奉仕活動の推進のため、また看護師の養成、救急法・家庭看護法の講習など数々の事業を推進するための基金となります。

日赤活動は、全国民が一致協力して復旧支援を継続していく活動です。

毎年、日本赤十字社として、『赤十字活動資金募集月間』が制定され、『人間を救うのは人間だ』～人は決して、一人じゃないから～をスローガンに、桂坂学区におきましては5月1日から31日まで、募金活動が行われております。

共同募金会桂坂学区分会

赤い羽根・共同募金活動におきまして、日頃より住民の皆様方には、大変、ご理解とご協力をいただき、誠に有難うございます。

共同募金活動は、昭和22年9月、京都府国民たすけあい共同募金委員会が発足し、皆様の善意に支えられて72回目を迎えました。毎年「地域の福祉、みんなで参加」、をスローガンに10月1日から共同募金運動を展開しております。

お寄せ下さいました寄付金は、京都府共同募金会より「住民福祉活動」、「高齢者福祉活動」、「児童青少年福祉活動」、「障害のある方の福祉活動」など民間の社会福祉活動や福祉施設や社会福祉協議会等のさまざまな活動を支援しております。

また、地震、台風・大雨洪水災害などの自然災害に対しても、「災害等準備金」から、直ちに支援させて頂きました。

共同募金活動として、桂坂分会では、

- ・10月と12月に、阪急桂駅西口、阪急嵐山駅、洛西ラクセーナ周辺の3か所で、街頭募金運動を実施しています。
- ・10月に、啓発活動として、洛西ふれあいの里「秋まつり」に参加しポップコーン、綿菓子、風船などのグッズ等を提供し募金の協力をお願いしています。
- ・11月に啓発活動として、西京区民ふれあい祭りに参加し、綿菓子、たこ煎餅、風船などのグッズ等を提供し募金の協力をお願いしています。

このような活動を通して、皆様方に、赤い羽根募金のご理解を頂き、11月1日から11月30日まで、赤い羽根募金のご協力をお願いしております。



桂坂保健協議会・桂坂献血会

公衆衛生の普及と向上を目指して

京都市では平成29年度から、全区役所・支所の窓口を市民目線でわかりやすい窓口にも再編するため、これまでの保健センターと福祉事務所の機能を統合した「保健福祉センター」を設置しました。

桂坂保健協議会は「地域内における公衆衛生の向上及び普及徹底を図り、併せて市の行う公衆衛生事業の円滑な運営に寄与する」ことを目的として、西京保健協議会連合会、西京献血推進実行委員会と連携を密にし、学区自治連合会、各自治会と協調して活動しております。

会則では、「桂坂献血会の業務を兼務する」と定め、献血事業も担当しております。

○保健協議会

「区役所・支所」と「地域住民」とを結ぶ役割として、「アウトリーチ型」事業の実施に当り、地域住民への広報・啓発や、参加者募集に係るとりまとめ、地域の健康課題等を踏まえたテーマ設定、事業終了後の振り返り等と、更に地域住民等のニーズを踏まえた独自事業の企画、「健康長寿のまち・京都」の事業への参加等地域住民の健康保持・増進や地域の環境保全と整備に寄与する事を目的として活動しております。

○献血会

地域における献血思想の普及と「献血会」の開催等献血事業に対する協力を行っております。両会は、役員、委員で構成し、委員は各自治会長が担当することになっております。

おもな仕事は

広報配布物の配布、各種回覧、ポスター掲示ですが、「全戸配布付物」については、年末年始の塵介収集に係る配布のみとなる見込みです。

「保健センターの主な仕事」の配布・回覧については、目下検討中とのことです。また、「集団健診や献血会、狂犬病予防注射」の周知等、市民しんぶん区版による一律的な周知では困難なもの、更には、「アウトリーチ型」事業に係る参加者のとりまとめ等については「保健センターニュース」という名称によらずに、引続き回覧板配布による市民周知に協力する予定です。

ポスターの掲示については、市政広報版の運用ルールの改正を踏まえ「年末年始の家庭ゴミの収集」と同様に、市政協力委員を通じて配布に切り替えられました。

①集団健診会場



集団健診受付風景



集団健診風景



集団健診風景

②献血会場



献血受付風景



献血現場と車両

桂坂民生児童委員協議会

桂坂学区民生児童委員協議会は、「民生委員・児童委員9名及び主任児童委員2名の11名」と「老人福祉員」4名の15名にて構成され、地域に暮らす住民の身近な相談相手として、医療や介護・子育て不安など、あらゆる生活上の問題について解決すべく、各関係機関への「つなぎ役」として、桂坂自治連合会の「桂坂まちづくり基本理念」の中にある、「安心・安全のまち桂坂」づくりの為、下記の活動を日々行っております。

1) 「高齢者」見守り活動等

現在70歳以上の高齢者は約1,800名居られ、特に民生児童委員協議会が把握しているおひとり暮らしの方と、災害時要支援名簿に登録されている方々、並びに、老々介護をされている方々への、日々の見守り訪問活動と相談相手として重点的に活動しています。

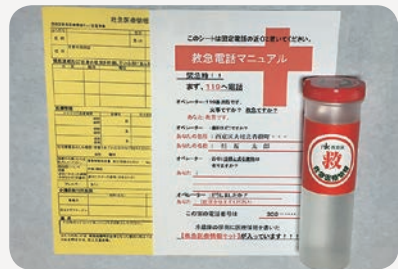
又、見守り活動の一環として、毎年88歳の「米寿」をお迎えの方々に、桂坂小学校のご協力を得て、4年生の児童達と「お祝い訪問」を行って居ります。



米寿のお祝い訪問

2) 「救急医療情報キット」の配布

西京区健康保健センター並びに、西京区民生児童委員会が平成24年度から行っている「救急医療情報キット」を現在385所帯の方々に、自宅で急病やケガ等救急車を呼んだりする時の為と、チョットした心の安心安全の為に配布を行って居ります。



救急キット

3) 「子育て支援」……(事業並びに相談支援活動)

主任児童委員による、新生児宅への「こんにちは赤ちゃん」訪問による、地域の子育て支援マップと心ばかりのお祝い品の贈呈と、「子育てきつずサロン」



桂坂子育てきつずサロン

を桂坂社会福祉協議会、更生保護女性会、桂坂児童館共催により、8月を除く、毎月1回桂坂児童館にて行う。

4) 「認知症講座」や、「子育て支援」の研修会の実施

上記の通り、様々な福祉に付いてのご相談が御座いましたら、お近くの民生児童委員まで、ご遠慮なくお声がけ下さい。私達、民生児童委員は、守秘義務を負って居り他人に情報を漏らしたりする事は御座いませぬので、安心してご相談ください。

西京少年補導委員会桂坂支部

今日まで30年の歳月をかけて作り、恵まれた環境の中で、すくすくのびのびと育っている桂坂の子ども達。この子ども達の健全育成推進を目的として、西京少年補導委員会（全17支部）桂坂支部（以後、桂坂少年補導委員会と記す）は、平成3年2月に発足し活動を続けています。

「地域の子どもは地域で育てる」をモットーとして出来る限り多くの子ども達と触れ合う機会を持ち、声掛けをすることから活動は始まります。子ども達と触れ合う機会は365日ありますが、桂坂少年補導委員会としての主な活動である“わんぱく自然塾”（サマーキャンプ）“夜間パトロール”“わんぱく塾”“親と子のふれあい餅つき大会”を通して、桂坂の子ども達の健全育成推進（子ども達の安全）を図っております。

わんぱく自然塾（サマーキャンプ）は、1泊2日の短期間ですが、子ども達は親から離れ友だちと野外活動を通じて「自分の事は自分でする」「自分より年少者を労る」「使用した場所は来た時よりも美しく」など約束は守り、毎年多くの事を学び、「来年もまた参加したい」と喜んでくれます。

また、桂坂住宅内の夜間パトロールは、西京警察署、防犯推進委員会、交通安全推進会、桂坂消防分団、桂坂小学校教諭とPTA、大枝中学校教諭とPTAの協力を得て行っています。

桂坂にお住まいの方と桂坂小学校の教諭も一緒にする“親と子のふれあい餅つき大会”と、年数回の“わんぱく塾”（物作りなど）の活動を通じ、大人と子ども達が顔みしりになることが、子どもの安全に繋がると信じ、今後共活動を続けて参ります。



竹で器を作ってカレーを食べよう！



テントを張るぞ！



ツリークライミング楽しい！



流しそうめんおいしいね！



へんじろう光実験おもしろい！

西京消防団桂坂分団

桂坂消防分団は1998年（平成10年）に発足してから、今年度で20年が経ちました。発足当初は、右も左も分からないまま西京消防団・西京消防署の指導の下、地域の安心安全の為に活動して参りました。

皆様のご指導ご協力のおかげで、桂坂分団としてやっと独り立ちできる様になり、日々、21名の分団員メンバーと共に活動しています。

予防活動

予防活動としては毎月5日と20日に実施している『無火災推進日』、及び年末の『年末防火運動』などの広報活動を実施しております。また、桂坂一帯を中心に団員の目視による巡回広報や『春・秋の火災予防運動』『春・冬の文化財防火運動』の活動も行っています。

地域の広報活動としては、カナート桂坂店や洛西高島屋、ラクセーナなどの前で防火チラシや防火ティッシュを配ったりしています。

また、拍子木を打ち鳴らし桂坂を練り歩きながらの『火の用心』のお声掛けが、皆様の防災意識を少しでも高めて頂けるきっかけになればと切に願いながら活動に取り組んでいます。

桂坂にある2ヶ所の保育園では、毎年子ども達に紙芝居や防火劇などで花火指導を行い、桂坂小学校4年生を対象に消防分団の器具庫の見学や、消火器の扱い方を指導して、未来ある子ども達にも防災の意識を持ってもらえる様な活動を行っています。

訓練活動

訓練活動としては、あらゆる災害に対応できる様に山林火災訓練・水災害訓練・小型動力ポンプを使用した消火訓練・震災訓練を適時実施しています。また、救急対応にそなえる救急法の訓練も実施しています。

分団員が災害時に迅速に対応できる為に訓練

は必要不可欠であり、規律を守り行うものであります。全ての訓練で必要な知識、技能を取得できるように分団員一同頑張っています。

警防訓練

警防訓練の一環を少し紹介させていただきますと、震災訓練においては仮定地震発生時間からの地域の被害状況確認、分団器具庫への召集及び情報収集、要救助者への対応、火災発生地点への対応を主に行っています。

また、山林訓練においては火災時の消火訓練はもとより、地域周辺の山林のパトロール、啓発を行っています。

総合査閲

平成30年6月3日(日)に桂坂分団は西京消防団を代表して、15年ぶりに京都市総合査閲を受閲しました。

当日は日頃の訓練の成果を発揮すべく、点検礼式及び行進訓練や小型動力ポンプを使用した消火訓練を実施し入賞を果たすことができました。成績には少し満足できていない面もありますが、分団員が一致団結して一つの目標に向かい受閲できた事は本当に良かったです。入賞に際しましては、準備にご協力頂いたり当日お越し頂いた地域の皆様、またご家族の方々のお力添えによるものと感謝しております。

おかげ様で平成30年は桂坂学区無火災でもありました。これからも無火災を目指して、分団員一同で日々の活動に取り組んでいきますので、宜しくお願い致します。



★お気軽にお立ち寄り下さい★

桂坂交通安全推進会

桂坂交通安全推進会は、平成4年、行政、西京警察署の下部組織として、街の交通安全を推進するために設置されました。

桂坂交通安全推進会は設置と同時に西京区交通安全連合会に加入して、各学区推進会と協力しながら住民の交通安全に寄与する事として活動をしています。

桂坂交通安全推進会独自の活動の一部を紹介します。

○桂坂小学校新1年生の交通教室

桂坂小学校と共催で、毎年入学式直後の5月初めに体育館で実施されています。体育館に仮設の道路を設置して、横断の仕方、交差点の左右確認の仕方などについて指導しています。

○小学生対象の自転車安全教室

桂坂小学校PTAとの共催で毎年5月ごろに実施しています。桂坂小学校グラウンドで自転車の正しい乗り方、交通法規などについて西京警察署の指導を受けています。

自転車は自動車の仲間「道路交通法」でルールが定められています。桂坂は坂が多く、下り坂ではスピードが出るので危険なため特に注意が必要です。

○高齢者交通安全教室

高齢者時代に突入して交通事故の半数以上は高齢者が関係しています。自分の運転技能、運転技術をチェックする機会を得るために毎年10月ごろに西京警察署、自動車教習所の協力を得て実施しています。

○PTAフェスティバルに於いて反射材を活用した交通安全教室

毎年7月に行われる桂坂小学校PTAフェスティバル会場において、反射材を活用してシオリ作りをしています。200人位の参加者があり夜間の交通事故防止の意識向上に貢献しています。



自転車安全教室



PTAフェスティバル

桂坂防犯推進委員会

「防犯推進委員会」は、警察と住民が連携して犯罪の未然防止に努める組織です。

桂警察署（現西京警察署）が発足（昭和45年）する以前の昭和41年に「防犯連絡所」の組織が作られました。しかし少年のシンナー吸引や暴力犯罪が絶えず、検挙することよりも「未然防止」に力を入れることの方が重要、そのためには「警察と自治連合会との連携をより強固に」の声が強くなったのです。

こうして「防犯連絡所」発足から28年後の平成6年（1994年）4月25日、「桂防犯推進委員協議会結成大会」が催され新組織が発足しました。桂坂からも菊池前自治連合会長と鹿野桂坂防犯部長（当時）が当初から理事として参画されています。

ところでこの「防犯推進委員協議会」では、各自治会長に防犯推進委員を兼務していただいていた。しかし「防犯教室」や「防犯キャンペーン」等の活動が増えてくると自治会長様への負担が大きくなることから、桂坂では平成26年（2014年）度から独自に、各自治会の防犯委員様に防犯推進委員になっていただき、名称も「桂坂防犯推進委員会」と変えて活動の活性化、犯罪の未然防止に努めてまいりました。

また、大枝交番様によるパトロールを補佐する意味で、青色パトロール車の導入にも力を入れ、西京では最多の5台有して、随時パトロールを行っています。

【定期的な活動】

- | | |
|------------------------------|--------|
| 1. 桂坂防犯推進委員会「総会」、「委員会」の開催 | 数回／年 |
| 2. 「防犯教室」開催：「振込み詐欺対策」「護身術」等 | 2～3回／年 |
| 3. 「防犯キャンペーン」：防犯ティッシュ、グッズ配布等 | 2～3回／年 |
| 4. 「青色パトロール車」による域内巡回 | 随時／5台 |
| 5. 少年補導主催「小学校夜間パトロール」に参加 | 数回／年 |



青色パトロール車の出発式（カナート前にて）



「防犯教室」の様子（「すこやかサロン」にて）



「青色パトロール車」のお披露目（桂坂小学校にて）

桂坂山の手倶楽部

当倶楽部は桂坂地域に在住する概ね60歳以上の者で、会員相互の親睦を図ることを目的に、平成4年4月26日に設立された団体です。現在の会員数は約250名です。

活動は同好会が主体で、歩こう会、コーラス、囲碁・将棋、写真、ゴルフ、グラウンド・ゴルフ、ボウリング、社交ダンス、カラオケ、マージャン、絵画、ハイキング、ペタンク、書道、映画鑑賞、軽音楽の16同好会が夫々独自に工夫をこらし仲間を増やしながらかつ活発に活動を展開しています。

また、全体的な活動としては、総会親睦会、趣味の作品展、山の手芸能祭等を当倶楽部が主体となって開催し会員全体の親睦融和を促進すると共に、広報誌の発行などによって積極的に広報活動も行っています。

一方では地域との連携強化を図ることも重要であるとの認識の下、自治連合会への協力はもちろん、桂坂小学校関連では児童への朝の声掛け活動、同PTA主催のフェスティバルでのブース開設、カザラッカコンサートではコーラス同好会が出演など、また京都市立西総合支援学校においてはサマースクール、芝生祭りにグラウンド・ゴルフ同好会が協力、洛西ふれあいの里秋まつりでは出店参加、桂坂野鳥遊園のもみじ祭りではスタッフとして協力するなど積極的に活動し存在感を高めています。



軽音楽同好会「クッキーズ」地域密着型サービスセンター桂坂でXmasコンサート



趣味の作品展



子ども見守り隊の活動



PTAフェスティバル 囲碁・将棋ブース

桂坂景観まちづくり協議会

桂坂景観まちづくり協議会（以下 協議会）は平成24年11月に、それまでの「桂坂地区建築協定協議会」が、名称変更と組織拡充により生まれ変わった団体です。京都市市街地景観整備条例により、翌25年2月に「地域景観づくり協議会」、5月には「地域景観づくり計画書」の京都市長認定を受けました。これにより桂坂では、建築物の新築やリフォームなど景観に影響を与える工事を行う場合には、建築主や事業者は計画段階で協議会との事前協議を実施するよう、義務付けられました。

協議会には二つの部会組織があり、その一つ「建築協定部会」は、桂坂地区内に16ある建築協定運営委員会の委員長によって構成され、以前の建築協定協議会の機能と役割を引き継いでいます。部会では、各地区での建築協定運営に関する情報や経験の交流、相互の相談や支援、建築協定の研修会開催などを行うとともに、20年ごとの建築協定更新の際には部会としてサポートを行っています。

もう一つの「景観づくり部会」は、桂坂の美しい景観や豊かな自然を感じたり再発見したりしながら、さらにより良いものを目指す活動をすすめています。最近では、桂坂の開発コンセプトを学ぶ講演会、フォルト観察まちあるき、桂坂の風景写真によるポストカードづくり、などに取り組んでいます。

また協議会として、桂坂の豊かな自然の楽しみ方を紹介する「桂坂あそべるしぜん図鑑」（全3巻）の発刊をすすめています。



毎年開催している建築協定研修会の様子（2015年5月）



2016年に発刊された「桂坂あそべるしぜん図鑑」巻の巻



紅葉撮影会とお茶会イベントの様子（2018年11月）



協議会が桂坂内15か所に設置している「地域景観づくり協議会制度」の案内看板



桂坂のすべてのフォルトを調査した「フォルト観察まちあるき」の様子（2018年5月）

西京更生保護女性会桂坂学区

更生保護女性会の理念には「更生保護の心を広め、次代を担う青少年の健全な育成を務めるとともに、関係団体と提携しつつ、過ちに陥った人たちの更生のため支えとなる」とあります。更生保護女性会桂坂学区では、桂坂自治連合会の事業に参画するとともに、学区の桂坂小学校、大枝中学校PTA・少年補導委員会桂坂支部・保護司会・防犯推進委員会の方たちと共に「薬物や性に関すること、携帯電話の扱いなど」身近に迫る犯罪や危険をテーマに講演会を開催してきました。

また、社会を明るくする運動では大枝中学校への登校時、子どもたちに「おはよう」のあいさつから、地域のおばちゃんに馴染んでもらったり、非行防止を啓発するティッシュなど配らせてもらっています。

住民から寄贈をいただいた石鹸やタオル、衣料など身の回り品を保護観察を終えられた方の施設や養護施設へ届けたり、食材を持ち込んで近隣の学区の方たちとカツレツなどボリューム感のある夕食を作る活動もしています。

京都保護観察所へは、所内にお花を生ける活動や、春先には、今年で17回を数える親と子のふれあいコンサート『音と語りのプロムナード』を開催しています。慣れ親しんだ童謡から、流行りの歌を心を込めて歌う温かいコンサートで、毎年楽しみにされている方も少なくはなく、毎年新しい題材の物語は情景が見えるようで語りに引き込まれていきます。



桂坂教育後援会

事業計画として『桂坂小学校、大枝中学校、西総合支援学校の児童・生徒を対象に、教育の充実、安心・安全と健康増進などに関する支援を行う』を掲げています。

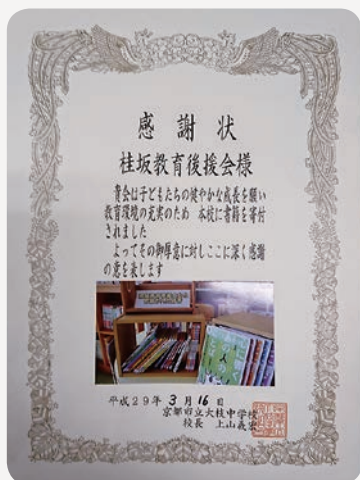
具体的な取組としては、それぞれ3校へ子どもたちの心を育てる、また知識を増やすため図書を送っています。また、学校からの要望に応じ、ゲストティーチャーとして桂坂小学校3年生「総合的な学習の時間」における“桂坂探検隊”（桂坂

の魅力発見隊）の出前授業を行っています。

さらに、今年度は桂坂小学校と大枝中学校が創立30周年を迎えられました。お祝いとして特別に30周年記念品を贈呈しました。



桂坂小学校“読書本贈呈感謝の会”
調べ学習に使える書籍を寄贈しました。



大枝中学校“書籍寄付による感謝状”



西総合支援学校“図書の寄付贈呈式”



“総合的な学習の時間”の授業風景

平安講社第十一社桂坂学区

【組織の概要】

京都三大祭りの一つ時代祭りは、毎年10月22日に京都市全行政区の各学区から2,000名余の参加の下、御所より平安神宮まで練り歩く祭りです。

桂坂も自治連合会発足の時から毎年行列に2名参加してきましたが現在では3名になっています。また祭りに参加された後は桂坂時代祭り世話人の会員としてお世話をいただき今では40名余りになりました。

平成29年までは右京区、西京区で楠公上洛列、室町幕府執政列を交互に担当してきましたが、平成30年から西京区は室町幕府執政列を担当することになり、そのことに依り騎馬の当番が3年毎に各学区に廻って来るようになりました。

桂坂学区平安講社は京都市民の時代祭りを世話人会で取り組んでいます。



【活動の記録】

平成30年時代祭り参列者	室町幕府執政列	騎馬(伊勢氏役)	服部 憲夫氏
		行列進行役	万殿 慎二氏
		供 奉	谷口 隆夫氏
		供 奉	石川 昌紀氏
		供 奉	小林 壽和氏



桂坂地域女性会

桂坂地域女性会は社会教育団体であり、学習により女性の地域向上をめざし、併せて親睦、助け合い等の自主的な団結による生活合理化を図るため、有効適切な実践運動を展開し地域の発展に寄与を目的としてきました。京都市教育委員会生涯学習部と西京地域女性連合会に所属し、22年に及ぶ活動をして参りました。発足当時の会員数は、多い時には170名程でしたが、最近では少しずつ減少し55名程でした。

活動については、4月に総会を開催し、前年度の振り返りと新年度の活動方針を決め、主に西京地域女性連合会関係と桂坂地域内の二つに分けて、次のような内容で取り組んでおりました。

* 西京地域女性連合会関係

- 1) 「作品展」「チャリティーバーゲン」「サークル発表会」
会場でのお抹茶の接待
- 2) 「西京地域ごみ減量推進会議」への参加
- 3) 「京都マラソン」沿道整理
- 4) 「市民スポーツフェスティバル」
- 5) 「女性リーダーセミナー」

* 桂坂地域

- 1) 「スクール21の学習」
- 2) 桂坂小学校「PTAフェスティバル」飲食物の販売
- 3) 桂坂小学校「朝の声掛け運動」への参加
- 4) 西総合支援学校「サマースクール」での「お抹茶フォーラム」
- 5) 「桂坂学区民体育祭」みたらし団子・コーヒーの販売
- 6) 野鳥遊園「もみじ祭り」に協力
- 7) 「桂坂きつずサロン」に協力
- 8) 「女性会だより」を毎月1回発行

幅広く、教育・子育て・親睦・ボランティア活動など精一杯して参りましたが、平成30年3月30日で「桂坂地域女性会」という組織としての活動は終了しました。





Saeko Yamada 「サクラ坂緑道」



Keizou Nakagawa 「朝光-モミジバフウ」



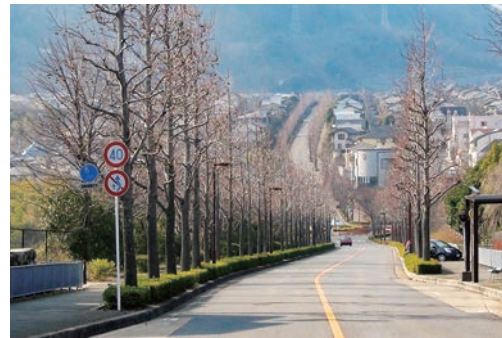
Kiyoshi Minoshima 「緑のモミジ坂緑道」



Mitsuo Ito 「桂坂公園」



Shigeo Matsumiya 「東海自然歩道」



Isamu Shiomi 「早春-モミジバフウ」

学校・施設等 活動紹介

京都市立桂坂小学校

創立30周年記念式典

平成30年11月28日（水）



平成30年、桂坂小学校も、自治連合会と共に創立30周年を迎えました。この日、多くのご来賓のご臨席のもと創立30周年記念式典を行いました。

京都市教育委員会、地域の皆様、そして子どもたちと共に、学校の30回目のお誕生日のお祝いをしました。

式典の最後に、この後の「学習発表会」の発表内容を、各学年の代表から紹介しました。



学習発表会

今年度学校では、創立30周年を機に自分たちが生活する「桂坂」をより深く知り、地域を愛し、更に発展させていこうとする子どもたちを育てるために、地域の皆様のご支援を得ながら、生活科・総合的な学習を中心とした地域学習を進めてきました。学習発表会では、その一端を発表しました。

やまゆり学級 「だいすき いっぱい 桂坂」

桂坂には、人々の憩いの場としてたくさんの公園が作られています。その中から自分たちのお気に入りの公園のことを発表します。また、全校児童のアンケートから、好きな公園ランキング上位3つの公園について人気の秘密を見つけに行ったことについても発表します。



「みんなであそぼう はる なつ あき ゆふ」 1年生

1年生は、生活科の学習で桂坂の自然を観察してきました。春・夏・秋と桂坂公園に行ったり学校の中を巡ったりして、季節ごとの虫や植物を観察してきました。この後、秋見つけで見つけた木の実や植物を使って秋祭りをします。秋祭りの準備の様子を発表します。

2年生 「大すきいっぱい わたしのまち」 ～桂坂にある公園のお気に入りを見つけよう～

2年生は、生活科で「大すきいっぱい わたしのまち」を学習しています。この学習では、自分たちがよく行く公園について詳しく調べました。調べた後、自分たちのお気に入りの公園について他の人に伝えたいなと思いました。ぜひ、多くの方々に聞いてほしいと思います。





「桂坂探検隊」～桂坂の魅力って何だろう？～ 3年生

3年生は、「桂坂探検隊」と銘打って、様々な施設や自然を調べています。桂坂には、緑道や公園など豊かな自然、また魅力的な施設もたくさんあります。桂坂の魅力を探るために、11か所の施設を見学し、桂坂には親切な人やとても素敵な施設があることがわかりました。3年生はこのことについて発表します。

4年生 「自然豊かな桂坂へ」

4年生は、学校内のビオトープを通して、桂坂の自然の魅力について学習しています。ビオトープマスターの先生方にお世話になりながら、生き物の観察や野草を使った生け花や染物体験をしました。また、アンケートを通して見えた3つの問題点について自分たちで考えたことを発表します。



「やさしさいっぱい伝え隊」 5年生

5年生は、「やさしさいっぱい伝え隊」というテーマで、福祉を中心とした学習をしています。

「ふれあいの里」に伺い、車いす体験をさせていただいたり、ユニバーサルデザインについて学習したりしました。“優しい街”とは……。自分たちにできることを考え、提案します。

6年生 「私たちの桂坂 夢プラン」

桂坂ができてから、30年がたちました。今の住みよい街になったのは、たくさんの人たちのおかげです。そして、この桂坂がたくさんの人のおかげで住みよい街になってきたように、今度は自分たちが街のことを考え、もっともっとよい街になるように取り組んでいくことが大切だと考えました。桂坂を作った人の思いや願いを引継ぎ、これからの桂坂がもっとよりよい街になるように考えた桂坂夢プランを発表します。



桂坂自治連合会・桂坂小学校創立30周年にあたって

桂坂小学校 校長 若松 美里

平成30年、桂坂自治連合会とともに桂坂小学校が創立30周年を迎えるこの節目に、大好きな桂坂小学校に関わらせていただいていることを大変幸せに感じています。

平成の幕開けとともに開校した本校は、多くの先輩方の情熱とご努力によって築き上げられてきました。今の桂坂小学校が多くの先輩方のご功績の上にあることを、そして、今現在に至るまで、常に温かく学校を応援し、支えてくださっている多くの皆様方のお力添えによって、子どもたちが、安心して穏やかに学校生活が送れていますことに、改めて感謝いたします。

私は、ご縁あって桂坂小学校に来させていただいて以来、学校のみならず、この“桂坂”を造り上げてこられた方々、また地域の運営や発展に尽力されている方々と様々な関わりを持たせていただけてきました。その中で、この“桂坂”が多くの方々の熱い思いとご努力によって長い時間をかけて、大事に造り上げてこられた素晴らしい街であることを実感しました。また、桂坂小学校も、地域の開発とともに児童数が増え、地域とともに発展してきた学校であることを知りました。その中で、この“桂坂”がどのようにして築かれ、そして今の生活が地域の皆様方の支えによって成り立っていることを子どもたちにきちんと伝えなければならぬと強く感じるようになりました。

桂坂小学校では、創立30周年を機に、今年度から生活科と総合的な学習の時間で地域学習を柱とした学習を組み立て、活動を進めています。その中で、自分たちが住む“桂坂”という地域は、「人にやさしい桂坂」という多くの方々の願いが込められた素晴らしい街であることを子どもたちが認識し、更にこの地域



撮影：国際総合企画株式会社

を守りさらに住みやすい街へと発展させる主体者となることを目指していきたいと思っています。

30周年という節目を一つの区切りとして、新しい時代の幕開けとともに桂坂小学校も次のステージに向けての新しいスタートを切りたいと思います。

どうぞ、今後とも、お力添えを賜りますようお願いいたします。

桂坂自治連合会創立30周年記念誌に寄せて

桂坂小学校 第6代校長 山本 泉
(平成21年～23年)

桂坂自治連合会並びに桂坂小学校創立30周年、おめでとうございます。思えば丁度私の在職中に、校舎の増築を行いました。教室等の不足によりやむを得ないこととはいえ、増築のために、それまで子どもたちの憩いの場所であった、緑豊かな広場を失ってしまうことが、大変心苦しかったことを覚えています。

必要な教室数を確保しつつ、図書室をはじめ各部屋のレイアウトについ



て市教委担当者と相談する中で、絶対に無くしたくなかったビオトープの再生を強く要請しました。校舎が竣工し、部屋の名前を決めることになったとき、大きい部屋を元の広場の愛称からクローバーホールに、小さい方の多目的室をカザラックルームに、瞬時に閃いて名付けたことが思い出されます。



桂坂学区、桂坂小学校30周年を祝して～地域力と学校力～

桂坂小学校 第7代校長 林 正幸
(平成24年～27年)

桂坂学区、桂坂小学校30周年誠におめでとうございます。

私は、桂坂小学校で平成24年度から平成27年度まで4年間過ごさせていただき、皆様には大変お世話になりました。

当初より「人にやさしい桂坂」というコンセプトでまちづくりが行われ、今では新しいまちからだんだん成熟したまちへと変貌してまいりました。これはひとえに桂坂に住まれる皆様が地域を愛し、より良くするというお心、つまり「地域力」の結晶です。

明るく元気で、学びがいのある学校であるために、まず子どもたちが主



役で、生き生きと活動することが大切です。そのために、子どもたちが主体的に活動できる場を設定して、保護者や地域の方々と手を結び、大人が支援していく立場で動いていただくことで、「学校力」は高まっています。

「地域力」と「学校力」の高まりの中で、今後さらに、桂坂学区、桂坂小学校が飛躍したものになりますようご祈念申し上げます。



地域で育まれる子どもたち ～桂坂小学校の一年～

4月

- 始業式
- 入学式
- 朝の声掛け運動
- 1年生を迎える会



満開の桜の下、ピカピカの1年生が入学します。「1年生を迎える会」では、6年生に手を引かれて入場する1年生。学校紹介やクイズをみんなで楽しみました。上級生のお姉さん、お兄さんに支えられて少しずつ学校生活に慣れていきます。

5月

- 春の遠足(1・2年生)
- 6年生修学旅行
- 家庭訪問



6年生は広島への修学旅行で、平和の尊さを学びます。毎年、1～5年生の児童が折り鶴をおって6年生が広島に持参します。

児童集会で、1～5年生に学んできたことを報告します。

6月

- 休日参観
- 校区内
オリエンテーリング
- 選書会
- 4年生みさきの家
野外学習



たてわり活動として、6年生がリーダーとなって「校区内オリエンテーリング」を行っています。公園を巡りながらクイズやゲームに取り組みます。



4年生は、奥志摩みさきの家で野外学習をします。磯観察や浦山ラリー、キャンプファイヤーなどをして楽しみました。

2泊3日の活動を通して、仲間との絆を深めました。

7月

- 夏季水泳学習
- PTAフェスティバル



夏の水泳学習では、泳法の習得や泳ぐ距離を伸ばすことをめざして、一人一人が自分に合った目標をもって学習を進めています。

8月

- 朝の声掛け運動
- キッズプラン作品展



「キッズプラン作品展」は、夏休み前に計画を立て、夏休み期間中に調べたりまとめたり作成したりします。そして、夏休み明けに全校児童の作品を展示し、互いに鑑賞し合います。

9月

- 運動会

10月

- カザラッカコンサート
- 秋の遠足(1・2年生)
- 5年生花背山の家
野外活動

11月

- 4年生総合的な学習
生け花
- 30周年記念式典
- 学習発表会
- にじっこまつり

12月

- 持久走大会
- 5年生スチューデント
シティ学習

1月

- 朝の声掛け運動

2月

- 校内作品展

3月

- 卒業証書授与式
- 修了式



運動会で6年生はフラッグを使った集団行動と組体操を組み合わせた演技をしました。

どの学年も素晴らしい演技や迫力ある競技で、見る人を感動させてくれました。

5年生は、3泊4日で花背山の家で野外活動に出かけました。

山の家では、野外炊事やフライングディスクゴルフ、館内オリエンテーリング、星空観察、花背焼など様々な活動に取り組みました。この4日間で、自立や協力の大切さを学びました。

4年生は、地域ボランティアの方々のお世話になって、「総合的な学習」でピオトープ学習を進めています。

この学習の中で、校内の植物を使って「野草生け花体験」をしました。

11月28日「創立30周年記念式典」を行いました。式典の後には、全校で地域について学習した事を「学習発表会」として発表させていただきました。

子どもたちは、冬の体力作りとして「ランニングタイム」に取り組んでいます。

「持久走大会」では、練習の成果を發揮しようと、力いっぱい走っていました。

校内作品展では、図画工作科の学習で制作した全児童の平面や立体の作品を体育館に展示します。

年度最後の大きな行事、「卒業証書授与式」。6年生が卒業してしまうことは、大変寂しいですが、桂坂小学校で学んだことを誇りに、大きく羽ばたいてほしいです。

京都市立大枝中学校

大枝中学校も創立30周年を迎えました!!

平成元年に創立された大枝中学校も30年を経て周囲の環境も大きく変化しました。多くの住宅が建ち並び、開校当初の宅地開発の様子は今や写真に残るだけです。しかし、学校の北側と西側は、未だに緑の木々が生い茂り、毎日、鶯のさえずりと心地よい風が吹き抜け豊かな自然は、開校当時のままではないでしょうか。

『自尊自立』『自他共生』『協働感謝』を「大枝三訓」と銘打って、現在の教育方針としています。自らを尊び、自らを律することのできる生徒、自らの課題を見つけ、学びに向かう生徒を育てたいという思い、そして、心身ともに健康で互いを思いやる生徒になってもらいたいという願い、さらには、社会に巣立っていく生徒たちが、周りとの協力し共に汗を流しながら課題を解決できるように、常に仲間や周りの人たちに感謝する心を大切にしたいという気持ちがこもっています。

今年度、大枝中学校も地域のみなさま・保護者の方々に見守られ、支えていただきながら創立30周年を迎えることができました。11月15日に記念式典を多くの来賓の方に参列していただき盛大に開催することができました。記念式典では、「今を生きる！」という題で卒業生より講演をいただき貴重なメッセージを後輩達に贈ってくれました。

今後とも、大枝中学校学校教育のためにご指導、ご支援いただきますようよろしくお願いいたします。桂坂学区創立30周年、誠におめでとうございます。今後のさらなる街づくりのご発展を祈念しております。



大枝中学校記念式典



桂坂30周年記念演奏



朗読劇「京・Genji」



桂坂統一クリーン・キャンペーン

京都市立西総合支援学校

桂坂学区自治連合会創立30周年、誠におめでとうございます。

本校は、昭和61年に保護者や教育関係者の熱い願いの中、発達に遅れのある子どもが通う学校として開校いたしました。平成16年度に発達に遅れのある子どもと肢体不自由のある子どもが通う総合制・地域制の総合養護学校として再編され、平成19年4月に京都市立西総合支援学校と校名変更を行いました。京都市内の西京区・右京区及び南区の一部（久世中学校区）をその校区とし、桂坂地域はもとより、児童生徒の居住地との結びつきを重視した教育実践を進めております。



西総合支援学校 校舎

学校教育目標を『「できる」自分を知り、夢や希望を持って、自ら、ひと・もの・ことに向かう子どもを育てる』とし、次の2点を教育理念として日々の取組を推進しております。

○全ての子どもたちは、適切な環境・支援があれば「できる存在」である。

○全ての子どもたちは、「地域に生きる一人の生活者」である。

このような子どもの「生きる力」を育むため、学校の中だけで学習を完結させず、桂坂地域やそれぞれの居住地で、それぞれの力を発揮できるような学習を大切にしています。そのためには、学校・家庭・地域が力を出し合って支え合う関係を築くことが大切であると考えております。今後ともどうか宜しくお願いいたします。



中学部
生き方探究チャレンジ体験
(カナート)



小学部
「公園で遊ぼう」(御陵公園)



高等部
「音楽ユニット」日本舞踊体験



桂坂地域の方へ
学校祭の案内状をお届け



サマースクール 山の手倶楽部の方から
グラウンドゴルフを教わっています



芝生まつり 学校運営協議会にて
お茶・おにぎり販売

桂坂保育園

1999年（平成11）に市民の要望により、京都市が公設として新設し、社会福祉法人京都社会福祉協会が運営している保育園です。開園時間は午前7時から午後7時まで、定員は90名、0歳から5歳就学前の乳



幼児を対象に、「子どもの人権や主体性を尊重し、子ども一人ひとりが生き生きと生活でき、心身ともに健やかな成長発達を育む」「家庭や地域と連携を図りながら、保護者や地域の子育て支援を行う」という信念に基づき、保育をすすめています。



木のぬくもりを感じる園舎、太陽の光がさす保育室の環境のなか、園児全員が兄弟のように育ちあい、元気な体作りを大切に自然あふれる桂坂での散歩やリズムあそびやマラソンに取り組んでいます。食育活動では、クラスごとに栽培した野菜を使ってのクッキングや「梅干し」「切り干し大根」「みそ作り」「干し柿」など季節料理も行っています。地域の施設や大枝中学の「チャレンジ体験」や「家庭科」での交流を通して学ぶこともたくさんあります。また、地域の未就園児の方や保護者を対象に「かざらっこひろば」の事業も行い、地域に根差した保育園をめざしています。

桂坂児童館

児童館は、児童福祉法第40条に定められた児童厚生施設です。子どもの健全育成・子育て支援・共生のまちづくりを目標に、0歳から18歳までを対象にした各種活動をおこなっています。

桂坂児童館では、「出会い・育ち・感動」を理念に掲げ、子どもの「できた!」を大切にされた支援、地域の子どもや親子にとって、安心して楽しく過ごせる居場所づくりを基本方針とし、午前中は、乳幼児親子を対象とした幼児クラブ（らっこクラブ）・乳児クラブ（ぴいちゃんクラブ）・あそびのひろば（にじいろ）に加え、リトミックやベビーマッサージ等の子育て講座や季節行事、また桂坂子育て応援サロン運営



ぴいちゃんクラブ

苦手だったボールプールも今ではだいすきになりました！



らっこクラブ

先生の読む絵本に興味津々♪

東桂坂保育園

当園は平成18年に開園して12年が経ち、今では100人以上の子どもたちが毎日元気に登園しています。桂坂にはたくさんの公園があり、自然も魅力もいっぱい。四季折々の公園には、見たり触れたり感じたりと五感で感じる事象がたくさんあります。

子どもたちは公園の散歩が大好きで、「宝物」や「発見」をみつけると各自の『お散歩バック』にそっと大切にしまっている姿がみられます。



また、一時預かり利用では初めてこの地を訪られる方もあります。「是非、自然豊かな桂坂で子どもを育みたい」と転居や同居を考えられる方もあります。すべての子どもの健やかな育ちは家庭にあり、その家庭は地域の中にあります。

今後も心温かな地域の皆様に支えられ、「桂坂に、東桂坂保育園があってよかった」と思っていただけよう連携を図りたいと願っています。よろしくお願い申し上げます。



委員会主催のきつずサロンをおこなっており、親子で楽しくふれあい、他の親子とも交流できる貴重な場となっています。午後からは、京都市の就労支援である「学童クラブ」の子どもたちが元気に帰ってきます。異年齢の中であそびや取組を通じて、健やかな育成の一助となるよう取り組んでいます。また、学童クラブ児童を含む地域の子どもたちを対象にした、きりえクラブ・卓球クラブや将棋道場では、子どもたちが熱心に腕を磨いています。中高生を対象とした京都市の指定事業「中高生と赤ちゃんとの交流事業」や、児童館行事のボランティア活動を通して、思春期児童の活動支援もおこなっています。



中高生と赤ちゃんとの交流事業
やわらかい赤ちゃんに戸惑いながらもしっかりと抱き、お母さんの話に耳を傾けていました。



学童クラブ事業
縦割りの班で活動をしています。
クリスマス会では各班の考えた出し物をし全員で楽しみました！

洛西ふれあいの里 更生園

京都市洛西ふれあいの里更生園は、1992（平成4）年に開所した定員60名の知的障害者の入所支援施設です。

開所当初から、集団生活により生じる課題の解決を目指し、「活動する場所」と「暮らし」を分ける「職」と「住」の分離を柱に取り組んでいます。

日中活動では、「あかしあ自治会」「しらかば自治会」のご協力により、空き缶やペットボトルのリサイクル活動に取り組んでいます。



利用者の皆さんの
共同作品

「つぶし作業」「ラベルはがし」「キャップの仕分け」など利用者の皆さんで、手分けして作業をしています。

また、生活場面では、「シクラメンの会」の皆様にも、20年以上「縫い物ボランティア」として、来て頂くなど地域の皆様に支えられています。

障害のある皆さんの暮らしがより良くなるように、スタッフ一同取り組みますので、今後ともご協力をよろしくお願い致します。



建物の様子



作業スペース

洛西ふれあいの里 授産園

京都市制100周年記念事業として平成元年に開設したふれあいの里も桂坂学区と共に30年の歴史を歩んでまいりました。授産園は障害者の働く場として、現在クリーニング作業と陶芸作業を行っています。ふれあいの里各施設のシーツや温泉施設、高齢者施設のタオル等のクリーニングを行っています。また



夏休み陶芸教室での1コマ

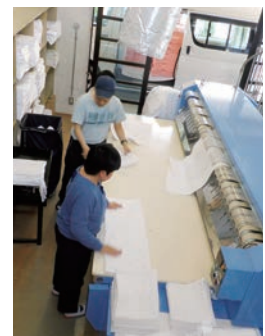
陶芸では、陶器まつり等で販売するとともに、小学校や保育所などで出張陶芸教室を行っています。夏休み陶芸教室では、毎年大勢のお子様にご参加いただいています。

地域の皆様との交流を目的とした「洛西ふれあいの里秋まつり」は、今年で第17回になります。毎年大勢の参加をいただき、盛大な地域イベントになりました。残念ながら昨年は台風の影響で止む無く中止致しましたが、今年は2倍の意気込みで準備を進めてまいりますのでご期待ください。



洛西ふれあいの里秋まつり

これからも、地域の皆様への感謝の気持ちを大切にして、共に歩んでいきたいと思っております。今後ともよろしくお願い申し上げます。



クリーニング作業

洛西ふれあいの里 療護園・デイサービスセンター

「京都市洛西ふれあいの里療護園」は、親の会など関係者の永年の思いが、京都市政100周年記念事業に結実し、1989年（平成元年）に開設した身体障害者の入所施設です（定員50名）。療護園では、18歳以上の介護を必要とする方々が様々な人生の背景を大切にしながら、一人ひとりが自分らしく主体的に生活されています。

「京都市洛西ふれあいの里デイサービスセンター」は、1991年（平成2年）洛西ふれあいの里療護園の中の一事業として開所し、現在は定員20名で、主に地域で暮らしておられる身体障害者の方々が通われている施設です。桂坂小学校や桂坂保育園等とも毎年イベントを行っており、地域の方々のボランティア活動にも支えていただきながら、事業を展開しています。



地域がひとつに
秋まつりの1コマ

また開設から実施していた両施設合同の夏まつりが2003年（平成15年）より、洛西ふれあいの里秋まつりへ発展。地域のご理解のもと桂坂の名物として16回の開催を重ねるまでとなりました。世代を超えたふれあいを大切にしたまちづくりを目指し、今後とも皆さまとのパートナーシップを強めていければと考えています。



地域ボランティアの方の
オカリナ演奏



桂坂保育園とのクリスマス会

地域密着型サービスセンター桂坂



公園に囲まれた
緑豊かな環境の中にあります

当事業所は、認知症の診断を受けた方が家庭的な環境の中、共同生活を営むことで、一人ひとりがその方らしく生活していけるように支援する「グループホーム」と、介護が必要となった方が、ご本人の状態や希望に応じて通い、訪問、泊まりといったサービスを組み合わせ、住み慣れた地域で家族や近隣住民の方々、各種団体の方々の協力のもと、暮らし続けていけるように支援する「小規模多機能型居宅介護」の2つの事業を運営しております。

平成28年3月に開設し、グループホームの定員は9名、小規模多機能型居宅介護の定員は25名と、規模の小さな施設ではありますが、いつでも安心して暮らしていけるような街づくりに少しでもお役に立てたらと考えております。

また、当事業所のご利用者の生活が潤うように、ボランティアの方々や児童館の子どもたちに来ていただくなど、様々な交流をいただいているほか、1階の交流スペースでは、各種団体の活動場所として活用いただいております。その利用団体は30団体を越えており、非常に多くの方々に使っていただいていることをうれしく思っております。



一緒に料理を作るのも
生活を支える支援のひとつ



ボランティアさんによる
クリスマスコンサート

特別養護老人ホーム 沓掛寮

特別養護老人ホーム沓掛寮は1987年（昭和62年）4月に桂坂地域における「福祉の街」建設計画に基づき、社会福祉法人・洛西福祉会が母体となって開設されました。開設当初は50床の施設でしたが、現在115床に増床して多くの高齢者の方々が暮らせる施設となっております。沓掛寮での暮らしは、当たり前の日常生活と共に楽しみのある行事を沢山行っており、特に地域の方々とふれあえる交流行事を高齢者の方々は心待ちにされています。



居室
落ち着いた環境で
暮らしていただけます。

ショートステイについては、空床転用型として115床のうち入院されている生活者の居室や退所された居室を活用し、緊急的な利用希望に対応しながら高齢者の方々の在宅生活の継続を支えています。

また、平成23年から地域でお住まいの高齢者の方々の在宅生活を支えるため、見守りと共に昼食をご自宅へお届けする配食サービスも実施しております。



外観
115名の方が暮らしています。



中庭
憩いの中庭です。

七彩すまいる館

平成28年に七彩すまいる館は「彩と笑顔をすまいに」というコンセプトのもと開設いたしました。

当館では、地域の高齢者の生活を支えるため、居宅介護支援事業所と京都市沓掛包括支援センターの事務所をおき、地域支援及び相談支援の活動を行っております。また、ご自宅での生活を支えるため



七彩すまいる館

ショートステイ、ホームヘルプサービス、さらに安心してご入居いただける住まいとし地域密着型特養（全室個室29室）、住宅型有料老人ホーム（14戸）をそなえています。

31年の春には、地域の皆様が多目的な活動の拠点として活用できる地域交流スペース、初夏には企業主導型保育事業「ふれあい保育園」の開所を予定しています。

多様な専門性を持った職員が、同じ建物に集まる相乗効果により、桂坂地域での「地域包括ケアシステム」の中心的役割を担うとともに、働く方々にとって、また桂坂地域の皆様にとって活気と魅力あるスポットとなることを目指しています。



玄関ロビー



特養リビング



有料老人ホーム居室

桂坂野鳥遊園



本施設は、平成12年7月から社会福祉法人京都市社会福祉協議会が児童厚生施設として、自然豊かな環境を活かして子ども達がすこやかに成長するようものづくり体験や講座をはじめ様々な取組を行うとともに、市民の皆様にとっては野鳥観察や散策を通じて自然とふれ

あっていただける場として運営しています。

また、桂坂学区自治連合会の多大なるご協力を得て、秋には地域の皆様に施設内の紅葉に親しんでいただけるよう「もみじまつり」を開催したり、年末には「注連縄づくり体験」といった地域交流事業を行っています。

今後も、桂坂学区自治連合会の皆様との連携をより深めさせていただき、子ども達や地域の皆様にとって本施設が桂坂学区にあってよかったと感じていただけるよう努めてまいりますので、いっそうのご支援・ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。



桂坂古墳の森保存会

「桂坂古墳の森保存会」は、2011年6月の設立から今年で8年を迎えました。

これまで、1500年前に造営された大枝山古墳群を古墳の森として、できるだけ自然のまま保存し、それを地域で活用するとともに、外部に発信することをコンセプトに活動してきました。

桂坂住民によって構成される正会員、京都市内・他府県の賛助会員、顧問の70数名の会員によって、見学者の案内、樹木の伐採・清掃など古墳の森内の整備作業、パトロールなどの日常活動が行われています。



春・秋の特別公開では、勾玉づくり・古代米の炊飯等古代の生活体験、オカリナ・箏・馬頭

琴の演奏、狂言の公演などのイベントが行われ、今では京都市内や他府県からの随時の見学団体を含めると、年間1,000人以上の見学者が訪れる京都市内でも有数の史跡になっています。

